

みんなでつくる
まち・ひと・きぼう
次の時代へ続く留萌

第6次留萌市総合計画
(概要版)

基本構想 2017 - 2026

前期基本計画 2017 - 2021

留 萌 市

◆はじめに

留萌市は、平成 12 年度より実に 16 年という長期間に渡り、市民の皆様のご理解とご協力のもと、財政健全化に向けた取り組みを進め、昨年度、ついに危機的な状況を脱することができました。

しかし、この間にも、人口減少は進み、さらには観光や農林水産業をはじめとしたグローバル化による地域間競争の激化、また毎年のように各地で大きな被害をもたらす自然災害への備えなど、留萌市を取り巻く経済・社会情勢は急激な変化を遂げています。

こうした情勢の変化に対応するため、留萌市では、働く場の創出や健康をキーワードとした留萌ブランドの発信、また、若者が希望する結婚や出産・子育てができるまちづくりなど、人口減少を抑制する地方創生の取り組みを戦略的に進めるとともに、全ての市民がいきがいを持って様々な舞台で輝き、さらには、次代を担う子どもたちの未来を見据え、明るく希望に満ちた次の 10 年間の留萌市をつくるため、平成 29(2017)年度から平成 38(2026)年度を計画期間とする第 6 次留萌市総合計画を策定しました。

計画の策定にあたりましては、公募による 9 名の市民会議委員による精力的かつ活発なご議論による市民会議案の策定をはじめ、様々な場面で、多くの市民や各団体の皆様から貴重なご意見・ご提言をいただきましたことに、改めまして、深く感謝申し上げます。

留萌市は、留萌の隆盛の礎を築く港の修築に私財を投じ、生涯をささげた五十嵐億太郎翁をはじめ、古くから市民有志が産業・経済・交通などの繁栄の礎を築いた「市民が主人公」のまちです。

これからの 10 年間では、人口が減少し、超少子高齢社会の進展が避けられないという状況の中で、市民が郷土の海や山などの自然を愛し、また風土・文化に誇りを持ちながら安心して暮らし、次の時代も持続的に発展するまちづくりに向けた挑戦をはじめなければなりません。

この実現のためには、留萌市の歴史が育んだこの「市民が主人公」という姿勢を大切に、市民一人ひとりが地域の絆を強め、日々の暮らしやまちの様々な課題の解決に向け、自分のできる役割を主体的に果たすことが鍵となり、協働のまちづくりが肝要です。

私も市民の皆様と積極的に対話を重ね、ご理解をいただきながら、次の世代にしっかりと留萌市を残していくため、第 6 次留萌市総合計画の基本テーマ

「みんなでつくる まち・ひと・きぼう 次の時代へ続く留萌」

の実現に向けて全力を尽くしてまいります。

留 萌 市 長

◆総合計画とは

総合計画とは、市の全ての計画の最上位となる計画で、将来のまちのあるべき姿（将来像）を掲げ、長期的な視点で計画的に事業を進めていくための行政計画です。総合計画は、基本構想、基本計画及び実施計画の 3 つ計画で構成しています。

区 分	説 明	計 画 期 間	
基本構想	・総合計画の最上位に位置するもので、「テーマ」「理念」「基本政策」というかたちで、市民が描く都市像＝今後進めるべき市政の課題と解決の方向性が示されます。	平成 29～38 年度(10 年間)	
基本計画	・基本構想で描かれた都市像の実現に向けた市役所の基本戦略＝課題の解決に向けた分野別の処方箋です。 ・分野別の成果指標と目標が設定されます。	前期 平成 29～33 年度 (5 年間)	後期 平成 34～38 年度 (5 年間)
実施計画	・基本計画に沿って、具体的に市役所の仕事を展開する年度ごとのアクションプランです。 ・毎年度の予算編成、人員配置と連動し、評価を受け、翌年度の内容を見直します。	3 年計画を毎年度策定	

◆第6次総合計画策定の背景

〔人口減少と超少子高齢社会の進展〕

人口減少を抑制し、また、元気な高齢者が活躍する社会を形成し、地域の安全・安心な暮らしや地域経済を支える社会基盤を維持する対策が必要です。

〔グローバル化の進展〕

グローバル化の進展により、地域間競争が激化する中で、地域の特産品の新たな販路開拓、留萌ブランドの磨き上げが求められています。

〔地域特性を活かしたエネルギーの導入〕

再生可能エネルギーの導入拡大や電力の小売り自由化等、エネルギー政策の抜本的な見直しが進められています。

〔災害への対応〕

大地震や台風・集中豪雨、大雪などの大災害が全国各地で多発しており、災害を防ぐ「防災」の視点だけではなく、被害を最小限に抑える「減災」への視点が重要になっています。

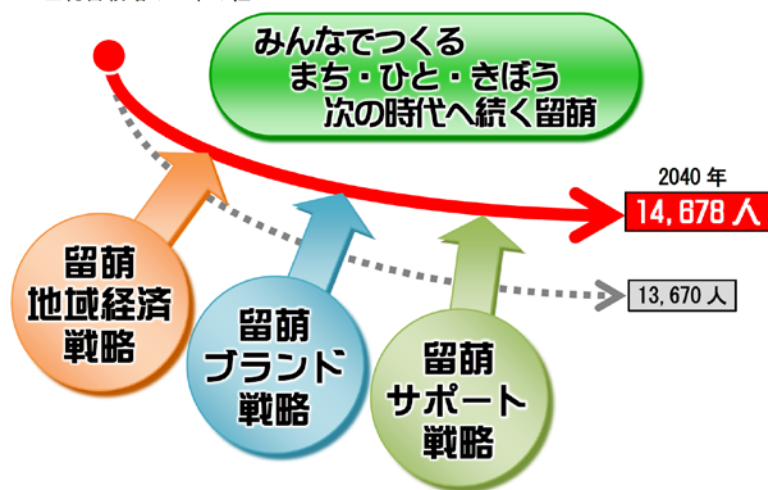
〔地方創生「留萌市人口ビジョン・総合戦略」〕

国では「まち・ひと・しごと創生法」を施行、留萌市においても、人口減少の速度を抑制し、将来にわたって地域社会を維持していくため、「留萌市人口ビジョン」と「留萌市総合戦略」を平成27年度に策定し、人口減少の抑制に取り組んでいます。



総合戦略の柱	人 口 ビ ジ ョ ン
魅力・やりがい留萌地域経済戦略	地域産業の強みを活かし、魅力とやりがいを感じて働くことができるまちづくり
健康・賑わい留萌ブランド戦略	留萌のブランドを活かし、人と人との交流により、元気に過ごせるまちづくり
出産・子育て留萌サポート戦略	留萌市で結婚し、子どもを産み育てたいと思えるようなまちづくり

■総合戦略の3本の柱



※第5次総合計画基本テーマ

「誇りと満足を目指す みなとまち留萌」

〔行財政運営〕

留萌市は長きにわたり財政の健全化に取り組み、最終計画となった「新・留萌市財政健全化計画」は、平成27年度をもって終了を迎えました。

財政の危機的状況に後戻りさせないために策定された「留萌市中期財政計画」との整合性を図りつつ、5つの財政規律を順守し、第6次総合計画を推進していかなければなりません。

【5つの財政規律】

- 連結実質赤字比率 . . . 全会計連結ベースでの黒字を維持する
- 実質公債費比率 . . . 平成32年度16.0%以下、将来全道市平均を目指す
- 将来負担比率 . . . 109.2%（現状）以下
- 市債発行額（事業債） . . . 単年度10億円・中期財政計画期間中総額50億円以内
- 財政調整基金残高 . . . 標準財政規模の20%以上の残高確保

◆基本理念

留萌市の50年後、100年後を見据えた次の10年間のまちづくりを進めていくため、次の4つの基本理念に基づき、まちづくりを進めていきます。

1. 安全・安心なまち

台風や地震、津波などの自然災害や犯罪から市民の生命・財産を守るため、強靱化に向けた適切な基盤整備を計画的に実施するとともに、町内会などの地域コミュニティを基礎とした自主防災への意識が醸成された「安全・安心なまち」

2. 充実した教育と健康のまち

幼児教育、高等学校教育との連続性に配慮しつつ、小中9年間を見通した一貫した質の高い教育が提供され、併せて、道内唯一の「健康の駅」などを拠点として市民の健康と福祉の増進を図る「充実した教育と健康のまち」

3. 活力あるまち

市民自らが留萌の魅力を積極的に発信し、さらに地域産業の強化と起業しやすい環境づくりにより、新たな雇用が生まれ、内外から人々が集う「活力あるまち」

4. コンパクトなまち

市民や企業、行政が一体となって、長期的な視点で留萌の魅力を高め、生活拠点(まちの中心)・産業拠点・観光拠点が有機的につながる「コンパクトなまち」

◆基本テーマ (目指す都市像)

みんなでつくる
まち・ひと・きぼう
次の時代へ続く留萌

この計画では、市民一人ひとりが幅広い分野で、主体的に生活の向上や留萌市が抱える様々な課題の解決に取り組むことで、今いる人々やこれから生まれてくる子どもたちが次の時代も住み続けたいと思える、さらには市外・道外・国外からも人々を惹きつける夢と希望にあふれたまちの将来像として「みんなでつくる まち・ひと・きぼう 次の時代へ続く留萌」を基本テーマ(都市像)とします。

◆基本政策と視点

第6次総合計画では、「市民に分かりやすく、かつメッセージ性のある内容にしていけることが大切である。」ということを中心に、市民会議から6つの政策区分で提案を受けました。

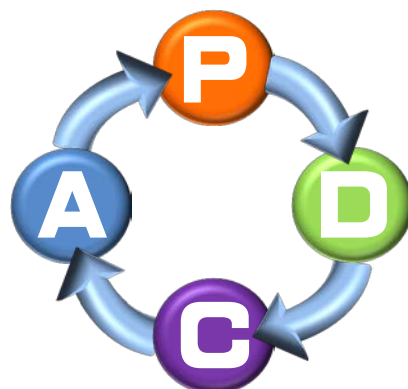
また、それぞれの政策は単独で成り立っているものではなく、つながりを持ち、連携していくことでより効果が増すものであり、広い視点に立った政策・施策の推進が重要です。



◆総合計画の進行管理 (PDCA サイクル)

市では、第5次総合計画から取り入れている「PDCAサイクル」を第6次総合計画においても継承し、重要施策の“選択”と予算や人員、時間などの経営資源の“最適配分”を行い、行政サービスの効率性や効果を高めるなど、市役所の生産性の向上を図り、総合計画の目標達成を目指します。

具体的には、「P (Plan)」総合計画の策定と「D (Do)」実施の中で、「C (Check)」総合計画、施策の成果、市民目線での検証を行い、「A (Action)」検証結果を踏まえて施策の見直しや総合計画の改訂を一連のプロセスの中で実施していくことで、より目指す都市像が実現化していきます。



【基本政策】 産業・港・雇用

【目指す姿】 地域産業の活性化と起業の促進、働きやすい環境づくり

地域経済を支える中小企業の経営支援や起業しやすい環境整備など、留萌らしい産業を創り出すとともに、魚介類や農作物などの留萌の産物をPRするなど生産者、消費者、行政が一体となることで、新規就業者の受入拡大、6次産業化への支援や販路拡大など、農林水産業の振興が図られます。また、「かずの子の日」制定をきっかけとした留萌の基幹産業である水産加工業の活性化や地域産業のチャレンジする環境、磨き上げ、掘り起こしに取り組みます。

（基本施策） 地域産業の振興

- 地域産業が元気で、地域経済が活発なまちにすること
- 新しい雇用をつくり出し、市民の経済生活が安定したまちにすること

◆創業	◆中小企業	◆雇用・労働	◆水産加工・特産品
【5年後の目指す姿】 ・地域の特色を活かした新規創業が生まれ、新たな事業展開が徐々に生まれてきています。	【5年後の目指す姿】 ・市内の企業や商店が、他の事業者や金融機関等との間で情報交換を行うことにより、知恵を出し合い、経営も安定し、活力に満ちた経済活動が定着してきています。	【5年後の目指す姿】 ・産業の発展を支える様々な担い手が育成され、雇用の受け皿も増えるなど雇用条件も改善され、市内の雇用が安定してきています。 ・失業や非正規雇用など様々な事情を抱えた人々が、就労に積極的にチャレンジできる環境が徐々に整ってきています。 ・若者が早期に離職することなく、経済の担い手の一員となってきています。	【5年後の目指す姿】 ・かずの子を中心とした水産加工品の消費拡大が図られています。 ・地域資源や技術を活用した、付加価値の高い魅力ある特産品が創出されています。
【数値目標】 創業支援対象者数 毎年1件以上	【数値目標】 法人市民税課税法人数 670法人 法人市民税課税額 173.5百万円 商工会議所会員数 597法人	【数値目標】 月間有効求人倍率 1.50倍 新規学卒者就職率 100.0%	【数値目標】 水産加工品生産量 10,538t 「満足いろいろ北海道」登録品数 36品

（基本施策） 一次産業の振興と地産地消の促進

- 地域の食を支える生産基盤を守り、発展させること
- 農漁業・農漁村を支える新たな担い手を育成・確保すること
- 森林が有する公益的な機能を守り、維持させること
- 持続可能な漁業の操業体制を確立すること

◆農業	◆林業	◆漁業	◆地産地消
【5年後の目指す姿】 ・担い手となる認定農業者に効率的に農地を集積することにより、作業効率の向上やスケールメリットによる経費の削減が図られ所得が向上しています。 ・高品質米産地の維持、強化に向け、担い手への農地集約化による効率的な生産、供給体制の確立や、高付加価値化に向けた栽培技術、品質管理に取り組み、南もい米としてのブランド価値が高まっています。 ・新たな担い手の育成、確保を図りながら、法人化や地域営農支援体制の構築により、水田を活用した戦略作物への取り組みや、高度な施設園芸作物の導入が進んでいます。	【5年後の目指す姿】 ・林道及び作業道等の整備により森林整備が計画的に促進しています。 ・木材利用促進と原木単価向上により、一般民有林での森林整備の意欲が高揚しています。 ・主伐・間伐の計画的な実施により素材搬出量が拡大しています。	【5年後の目指す姿】 ・漁業資源の増殖及び資源管理の取り組みにより、沿岸漁業の継続的な展開と市民等への水産物の安定供給が図られています。 ・養殖業等新たな操業体制への転換により、漁業収入の安定化と担い手の確保が進んでいます。 ・水産物販売体制の6次産業化による付加価値向上により、漁業・漁協経営の強化が促進されています。 ・漁業施設の有効活用により、水産物の出荷調整や付加価値生産が図られるとともに、新たなブランド商品が創出されています。	【5年後の目指す姿】 ・地域の一次産品の安定生産、供給体制の確立により、留萌産にこだわった飲食メニューの展開や地場の食材を活用した商品開発、地元消費の拡大を図りながら、一次産業への関心が高まっています。 ・未利用のバイオマス資源等を活用したエネルギーの地産地消の取り組み、機運が高まっています。
【数値目標】 認定農業者一戸当たり平均耕地面積 23.1ha 農業販売額 609.0百万円 新規就農者数 延4人 農業担い手従事者数 46人	【数値目標】 一般民有林におけるCo2貯蔵量 327,000t-C 一般民有林における素材搬出量 1,000m ³	【数値目標】 漁業生産高 800百万円 漁業従事者数 40人	【数値目標】 産直イベント参加者数 18,000人 地産地消(資源化)エネルギーの使用量 30t

（基本施策） 港湾・物流の確保

- 市民に愛され、親しまれる港があるまちにすること
- 道北圏域を含めた物流と地域経済が活発なまちにすること

◆留萌港	◆貿易
【5年後の目指す姿】 ・交通基盤の整備とともに、留萌港の経済圏である留萌・上川・北空知地域を中心とした物流が活発になっています。 ・港湾荷役等をはじめとする港湾関連サービスが安定的に提供されています。	【5年後の目指す姿】 ・石炭の輸入や道産材の輸出など、留萌港での外貨貿易物が安定的に取り扱われています。 ・地場産品の海外販路開拓・拡大に向けたビジネス機会が創出されています。
【数値目標】 留萌港取扱貨物量 137.0万t 港湾運送事業者数 2法人	【数値目標】 留萌港取扱貨物量 137.0万t 輸出品数 毎年1品以上

【基本政策】 観光・交流

【目指す姿】 魅力あふれる留萌ブランドの発信とおもてなしの向上

新しい人の流れ、新しい交流が生まれ、新しい産業に結び付いていくことを希求し、今できることを見極め、着実に成果の上がる施策に取り組みます。

（基本施策） 魅力の創造と発信

- 市民がまちの魅力を共有し、交流を深め、経済・文化が活発なまちにすること
- 船場公園・管理棟を核とした交流人口を拡大すること
- 市民に愛され、親しまれる港があるまちにすること

◆観光	◆国際交流	◆公園緑地	◆留萌港
【5年後の目指す姿】 ・留萌らしい地域資源を生かした体験型観光と、インパウンドの受け入れ態勢整備が推進され、外国人観光客を含めた交流人口が拡大するとともに、人情港留萌のブランド力が向上されています。	【5年後の目指す姿】 ・民間の国際交流団体が中心となり、様々な分野での交流が行われています。	【5年後の目指す姿】 ・市民や他都市からたくさんの人々が来訪し、子どもからお年寄りまでが安心して時間を過ごし、笑い声や笑顔がふれています。 ・船場公園「管理棟」から様々な情報が発信され、まちなかへの誘導により賑わいが続いています。	【5年後の目指す姿】 ・北海道を代表する観光地(旭川・富良野・美瑛等)とのアクセス向上により、毎年、客船が寄港するなど、北北海道観光の海の玄関口として確立されています。 ・港の施設を一時的に開放してのイベントなどが行われており、港が身近に感じられるようになっています。
【数値目標】 観光客の入込み数 285.1千人 観光入込客宿泊客延人数 27.3千人 訪日外国人宿泊客延人数 264人	【数値目標】 国際交流事業参加者数 150人	【数値目標】 管理棟延入館者数 50,000人	【数値目標】 留萌港への客船寄港 毎年1隻

【基本政策】 健康・福祉

【目指す姿】 市民の自発的な課題解決と安心した地域福祉・地域医療の充実

全ての市民が健康な心と体で、元気に暮らし、活力ある地域社会を目指し、市民が健康であることを願う「健康都市宣言(H17)」の趣旨に基づきさらなる施策に取り組みます。

（基本施策） 協働による地域づくり

- 思いやりとぬくもりの地域コミュニティを再生すること
- 市民活動、市民参加、ボランティア活動が活発になること

◆市民活動	◆町内会	◆コミュニティセンター	◆男女共同参画
【5年後の目指す姿】 ・市民活動やボランティアが市民全体に浸透・定着し、市民活動団体等は安定した団体の運営がなされ、主体性を持ってまちづくりに取り組み、互いに協力・連携しながら活動を進めています。	【5年後の目指す姿】 ・地域コミュニティが自治の担い手として機能し、互いに協力しあいながら、地域の課題を地域の力で解決しています。	【5年後の目指す姿】 ・地域住民の拠点施設として、コミュニティ活動や世代間交流も活発になっています。	【5年後の目指す姿】 ・人権が尊重され、性別に関わりなく、ともに個性と能力が発揮できる環境が整っています。
【数値目標】 市民活動振興助成金申請件数 毎年3件以上	【数値目標】 町内会加入率 80.0%	【数値目標】 市民一人当たりのコミュニティセンター年間延利用回数 1.24回	【数値目標】 委員会・付属機関参加者の女性構成比率 50.0%

（基本施策） 健康の増進と地域医療の充実

- 市民の健康を維持し、元気な市民がたくさんいるまちにすること
- 市民が安心して暮らせる医療環境を提供すること
- 高齢者がいきがいをもち、安心して暮らせること

◆健康・保健予防	◆高齢者	◆地域医療	◆地域センター病院
【5年後の目指す姿】 ・健康都市宣言の趣旨に基づく様々な施策展開により、市民の健康意識が高まり、予防や健康づくりに積極的に取り組む市民が増えていきます。 ・地域の健康課題の克服と科学的根拠に基づいた新しい予防対策を提案しています。	【5年後の目指す姿】 ・高齢者自身が経験や知識を活かし社会参加するなど、健康で明るく、住み慣れた地域でいきいきと生活を送っています。	【5年後の目指す姿】 ・救急、小児、周産期の医療提供体制が整い、市民がいつでも適切な医療を受けることができ、安心感が高まっています。	【5年後の目指す姿】 ・医療スタッフ、設備、予算が確保され、医療圏の将来医療需要と地域のニーズを踏まえた医療が提供されています。
【数値目標】 健康をキーワードとした企業連携研究に参加する市民の割合 100% がん検診受診者数 3,258人 乳幼児健診受診率 100%	【数値目標】 介護予防事業参加率 38%維持(増加)	【数値目標】 看護師等修学資金貸付金利用者数 毎年10人	【数値目標】 市立病院利用(外来)における患者満足度 85.0% 分娩件数 144件 医学生実習の受け入れ件数 26件

【基本施策】 地域包括ケアシステムの充実	
●要支援、要介護状態となっても自分らしく暮らせること	
◆地域包括ケアシステム	
【5年後の目指す姿】 - 高齢者が要支援、要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供されています。 - 地域包括支援センターの取り組みに対する理解度が高まっています。	
【数値目標】 認知症サポーター養成講座受講人数 毎年 132 人(累積 3,942 人)	

【基本施策】 地域福祉の充実	
●みんなが支え合い安心して暮らせる「やさしいまち」をつくること	
◆地域福祉	◆障がい者福祉
【5年後の目指す姿】 - 身近な日々の暮らしの場である地域社会で、多様な生活課題に地域全体により取り組む仕組みがつくられています。 - 地域福祉に関する活動への住民参加が促進されています。	【5年後の目指す姿】 障がい者が自立して生活できる環境にするため、市民の障がい者に対する理解を深め、差別や偏見のない社会が構築されています。
【数値目標】 ボランティアセンター登録団体数 19 団体	【数値目標】 福祉施設から一般就労への移行者数 2 人 就労移行支援事業所利用者数 2 人

【基本施策】 社会保障の充実				
●医療費適正化による持続可能な国民健康保険を安定的に運営すること ●後期高齢者医療制度を安定的に運営すること ●市民の健康増進と経済的負担の支援をすること ●万一の場合でも、市民が安心して生活できること				
◆国民健康保険	◆後期高齢者医療	◆介護保険	◆医療費助成	◆生活保護・自立支援
【5年後の目指す姿】 - 市民の健康意識が高まり、毎年、自らの健康状態を確認するため、特定健康診査を受診しています。 - 特定健康診査の結果を踏まえ、保健事業などを活用しながら適切な運動と食生活を心がけて生活しています。 - 疾病の予防や重症化防止により、医療費の適正化が進み、持続可能な国民健康保険が運営されています。	【5年後の目指す姿】 健康でいきいきと暮らす高齢者が増え、後期高齢者医療制度が安定的に運営されています。	【5年後の目指す姿】 - 介護サービスを必要としている方に、わかりやすい情報を提供しています。 - 利用者にとって必要なサービスを受けていただき、安心して生活できる環境になっています。	【5年後の目指す姿】 市民の健康増進と経済的負担を支援し、障がい者が元気に暮らせ、ひとり親家庭を含む子育て世帯が子育てのしやすい、子どもたちが元気にすくすくと育つまちになっています。	【5年後の目指す姿】 - 健康で文化的な最低限の生活は確保され、就労可能な受給者は支援により自立に向かっています。 - 生活保護に至る前に生活困窮者の自立を支援する体制が整えられています。
【数値目標】 国民健康保険被保険者一人当たりの年間医療費 429 千円 特定健康診査の受診率 60.0% 特定健康診査における 40～75 歳の生活習慣病リスク保有率 35.0%	【数値目標】 後期高齢者医療制度被保険者一人当たりの年間医療費 1,012 千円	【数値目標】 要介護(支援)認定者率 16.1%	【数値目標】 重度心身障害者一人当たりの助成件数 18 件以上 ひとり親家庭等一人当たりの助成件数 5 件以上 乳幼児等一人当たりの助成件数 13 件以上	【数値目標】 収入増加により生活保護から自立した世帯の割合 2.80%

【目指す姿】 学校・家庭・地域が連携した教育と子育て環境の充実

留萌市の宝である子どもたちの学力と体力が向上し、豊かな心と健やかな体が育成されることを願い、また、子どもから高齢者までの学習機会、学習環境の充実に取り組みます。

（基本施策） 学校教育の充実

- 幼児教育、高等学校教育との連続性に配慮しつつ、小中9年間を見通して一貫した質の高い教育を提供すること
- 互いに認め合い、支え合う心を育むこと
- 望ましい運動習慣や食習慣を定着させること
- 教職員の資質・能力を総合的に向上すること
- 地域の教育力を積極的に取り入れた学校をつくること

◆確かな学力を身に付けるための教育の充実	◆豊かな心の育成	◆健やかな体の育成	◆教職員の資質・能力の総合的な向上	◆信頼される学校づくりの推進
【5年後の目指す姿】 ・子ども一人ひとりの発達の段階を考慮した系統性と発展性のある学習カリキュラムが編成され、確かな学力の定着が図られています。	【5年後の目指す姿】 ・郷土に誇りを持ち、豊かな人間性と共生の力が育まれています。	【5年後の目指す姿】 ・子どもが自ら健康に関心を持ち、楽しさを実感しながら日常的に運動に親しんでいます。	【5年後の目指す姿】 ・高度情報化やグローバル化の進展など、変化の激しい時代や社会が求める今日的な課題に応じた資質や能力を備えた教職員集団が形成されています。	【5年後の目指す姿】 ・地域と一体となって、家庭や地域の声を活かした学校運営が行われています。
【数値目標】 全国学力・学習状況調査結果 100.0%	【数値目標】 いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う児童・生徒の割合 100.0%	【数値目標】 体力・運動能力、運動習慣等調査結果 100.0% 学校給食地産地消率 41.1%	【数値目標】 なし	【数値目標】 学校関係者評価調査を公表している学校数 小・中全校

（基本施策） 社会教育の充実

- 市民協働により、子どもから高齢者までの様々な学習ニーズに応える社会教育事業の推進と学習機会を拡充すること
- 子どもたちに基礎的な運動習慣が身につくよう生涯スポーツの基礎づくりに努めるとともに、身近な地域で誰もがスポーツを楽しむことができる生涯スポーツ社会の基盤をつくること
- 芸術・文化活動の促進と鑑賞機会の拡大、文化関係団体等を育成すること

◆生涯教育の充実	◆生涯スポーツの推進	◆芸術・文化活動の推進と歴史の伝承
【5年後の目指す姿】 ・市民や社会のニーズに応じた学習機会や学習プログラムが充実し、市民や関係機関、行政との連携や社会教育施設では指定管理者との連携事業が進められるなど、地域に根差した「学び」の支援体制や世代間交流が促進し、地域のリーダーとなる人材が育成されています。	【5年後の目指す姿】 ・市民の誰もが目的にあったスポーツに親しみ、楽しむことができる環境が整い、地域の身近な施設が活用され、関係団体との連携による生涯スポーツに向けた環境やスポーツ振興と交流人口の拡大により、地域の活性化が図られています。	【5年後の目指す姿】 ・文化関係団体等の育成、支援が図られているとともに、地域の様々な人材と連携し、専門知識の継承や芸術・文化に親しむ機会が拡大されながら、次世代の文化の担い手の育成につながっています。 ・市民の郷土学習の場や学習資源として、文化財の活用が図られています。
【数値目標】 市民一人当たりの公民館年間延利用回数 1.63 回 市民一人当たりの文化センター年間延利用回数 1.10 回 市民一人当たりの図書館年間延利用回数 1.07 回	【数値目標】 市民一人当たりのスポーツセンター年間延利用回数 1.80 回 スポーツ合宿による延宿泊数 延 150 泊以上 (5 団体)	【数値目標】 市民一人当たりの文化センター年間延利用回数 1.10 回 音楽合宿による延宿泊数 延 1000 泊以上 (10 団体) 旧佐賀家漁場の視察団体数 5 団体以上

（基本施策） 教育環境の充実

- 児童生徒が安全で安心して学校生活を送ることができること
- 生涯にわたり学習・文化・スポーツ活動に取り組むことができる、安全・安心で質の高い教育環境を整備すること
- 児童生徒が登下校時に交通事故や犯罪に巻き込まれることがないよう、地域ぐるみで通学路の安全確保に努めること
- 子どもたちにとって望ましい教育環境を維持・向上させること

◆安全・安心な教育環境の確保	◆児童生徒の安全対策の充実	◆教育環境の維持向上
【5年後の目指す姿】 ・児童生徒が安全で安心して学校生活を送ることができるよう、全ての学校施設の耐震化が図られ、また、学校施設や教職員住宅の老朽化対策が計画的に進められています。 ・学校給食を安定的に供給するための環境整備が計画的に進められています。 ・全ての利用者が利用しやすい社会教育施設となるよう、適切に維持・管理されています。	【5年後の目指す姿】 ・地域ぐるみで子どもたちを見守ることにより、児童生徒が安心して登下校をしています。	【5年後の目指す姿】 ・児童生徒数が減少していく中であっても、子どもたちにとって望ましい教育環境の維持・向上が図られています。
【数値目標】 小・中学校施設の耐震化率 100.0% 小中学校の老朽化対策の実施 全校 学校給食地産地消率 41.1%	【数値目標】 児童生徒の登下校時の交通事故発生件数 0 件	【数値目標】 なし

（基本施策） 子ども・子育て支援の充実

- 子どもたちの夢・希望・笑顔で満ちあふれたまちにすること
- 子ども・子育て世帯が健康で豊かに生活できるまちにすること
- 仕事と子育ての両立を地域社会全体で応援するまちにすること
- 子どもたちが、心身ともに健康・健全に成長できるまちにすること

◆子ども・子育て	◆幼児教育・保育	◆幼児療育通園センター	◆青少年	◆ひとり親家庭等
【5年後の目指す姿】 ・「留明市子ども・子育て支援事業計画」に基づく子育て施策の推進により、全ての子どもたちが、郷土愛を育み、夢や希望、笑顔と活気に満ちあふれた生活を送り、地域社会全体で子育てを応援するまちなっています。	【5年後の目指す姿】 ・「留明市子ども・子育て支援事業計画」に基づく子育て施策の推進により、幼児教育・保育を希望する保護者の子どもたちが質の高い幼児教育・保育サービスを受けられる環境の充実が図られています。	【5年後の目指す姿】 ・心身に障がいや発達に遅れのある子どもが、基本的な生活習慣や集団生活に必要な適応力を身に付け、健全な生活を送っています。 ・療育体制が充実し、心身に障がいや発達に遅れのある子どもとその家族に対し、安定した療育環境が提供されています。	【5年後の目指す姿】 ・「留明市子ども・子育て支援事業計画」に基づく施策を地域及び行政が一体となって推進し、青少年が地域の様々な活動に参加することによって、心身ともに健やかで、地域社会の一員としての自覚や、他人への思いやりの心と規範意識を持った子どもが育っています。	【5年後の目指す姿】 ・「留明市子ども・子育て支援事業計画」に基づく子育て施策の推進により、ひとり親家庭等が経済的に安定し、自立した生活を送り、子どもが健やかに成長しています。
【数値目標】 未就学児童一人当たりの子育て支援センター及び児童センター年間延利用回数 15.00回 小・中学生一人当たりの子育て支援センター及び児童センター年間延利用回数 40.00回	【数値目標】 幼稚園入園児童割合 30.0% 保育所入所児童割合 34.0%	【数値目標】 待機児童数 0人	【数値目標】 青少年健全事業の延参加者数 820人	【数値目標】 児童扶養手当受給者の就労割合 86.0%

【基本政策】 防災・防犯

【目指す姿】 一人ひとりの安全意識の向上と地域のつながりの一層の強化

誰もが安心して住み続けられるまちづくりを推進していきます。

（基本施策） 安全・安心な地域づくり

- 思いやりとぬくもりの地域コミュニティを再生すること
- 市民活動、市民参加、ボランティア活動が活発になること
- 自然災害から市民の生命・財産を守るまちにすること

◆防災	◆町内会	◆コミュニティセンター	◆共助による減災
【5年後の目指す姿】 ・防災に関する各種計画の改定と避難所運営や行政備蓄計画策定など総合的な対策が強化されます。	【5年後の目指す姿】 ・地域コミュニティが自治の担い手として機能し、互いに協力しあいながら、地域の課題を地域の力で解決しています。	【5年後の目指す姿】 ・地域住民の拠点施設として、コミュニティ活動や世代間交流も活発になっています。	【5年後の目指す姿】 ・地域による防災の意識が向上しています。 ・地域における自主防災組織の設置が増え、防災訓練の実施や参加などにより、相互の助け合い精神が浸透しています。
【数値目標】 なし	【数値目標】 町内会加入率 80.0%	【数値目標】 市民一人当たりのコミュニティセンター年間延利用回数 1.24回	【数値目標】 町内会における自主防災組織数 100団体 自主的に防災訓練を実施した団体数 60団体 避難行動要支援者名簿の同意した人の割合 65.0%

（基本施策） 安全・安心な暮らし

- 市民が、安心(快適)で安全な生活環境で暮らせるまちにすること
- 市民の生命・財産を守るため災害に強い地域づくりをすること

◆市民相談	◆防犯	◆除雪	◆火災・救急救命	◆交通安全
【5年後の目指す姿】 ・誰でも、どんな問題でも安心して気軽に相談できる窓口が提供され、増加が進む高齢者に対しても相談しやすい環境になっています。 ・消費者教育が充実し、トラブルが未然に防止され、消費生活の安心感も高まっています。	【5年後の目指す姿】 ・安全で安心な暮らしを送ることは、自治の基本であり、地域が一丸となった防犯活動を行うことで、市民が「安全で安心なまち」を実感しています。 ・夜間における通行の安全と犯罪の防止につながる防犯灯が町内会等により維持管理されています。	【5年後の目指す姿】 ・局所的な大雪に対応するため、道路管理者の連携体制が構築され幹線道路の通行が確保されています。	【5年後の目指す姿】 ・応急手当の普及は、傷病者の救命率向上につながり、消防機関の救急業務の効果も高まっています。 ・大規模災害時における住民の自主救護能力が向上しています。	【5年後の目指す姿】 ・家庭・企業や事業所・地域での交通安全に対する意識が高まり、市民が当事者になる交通事故は減少しています。
【数値目標】 消費者協会相談件数 120件	【数値目標】 刑法犯発生件数 80件	【数値目標】 市民雪捨て場利用台数 37千台 大雪による通行止め日数 0日	【数値目標】 普通救命講習受講率 48%	【数値目標】 交通事故発生件数 10件 交通事故死亡者数 0人

（基本施策） 安全・安心な都市機能

- 市民の生命・財産を守るため、インフラの老朽化対策、事前防災・減災を推進し、安全・安心な道路ネットワークを形成すること
- 市民の生命・財産を洪水から守るための河川・ダムが整備・管理され、市民が安心して暮らせるまちにすること
- 災害時における市の防災活動及び行政機能拠点を維持・向上させること

◆道路・橋りょう	◆河川・ダム	◆防災活動拠点・行政機能
【5年後の目指す姿】 ・幹線道路のネットワークの整備が進み、都市機能が向上しています。 ・既存橋りょうの長寿命化及び道路付属物等の老朽化による利用者被害を防止するため、点検診断に基づく補修・改修整備を進めています。	【5年後の目指す姿】 ・市民の生命・財産を洪水から守るための河川・ダムが整備・管理され、市民が安心して暮らしています。	【5年後の目指す姿】 ・行政機能のみならず、災害時における拠点でもある市庁舎の建替えまたは移転など今後の方向性が確認され、それに向けた準備を進めています。
【数値目標】 橋りょうの予防保全率の向上 道路照明の健全度の向上	【数値目標】 大雨時における溢水件数 0 件	【数値目標】 なし

【基本政策】 環境・都市基盤

【目指す姿】 都市機能の効率的な集積と地域資源の利活用

コンパクトで無駄のない、また利便性や効率化が図られ、誰もが快適なまちとなるよう取り組みます。

（基本施策） 快適な住環境と自然環境

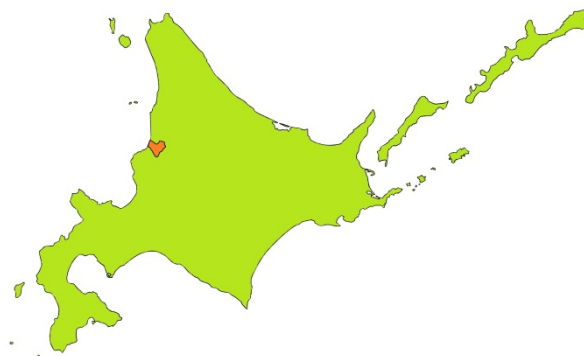
- 地球環境を守るために、自然にやさしい生活を送ること
- 市民が、快適で安全な生活環境で暮らせるまちにすること
- 安全で安定した水道水を供給し続けること
- 持続可能な下水道事業を推進し続けること
- 冬季の安全な道路環境確保のため、地域との協働による環境整備を進めること

◆生活環境	◆省エネルギー・再生可能エネルギー	◆上水道
【5年後の目指す姿】 ・留萌市環境基本計画の理念が浸透し、市民や企業の環境問題や環境保全に対する意識が高まっています。 ・市民のごみの減量化に対する意識がさらに高まっています。 ・市民のボランティア活動により、環境美化が図られています。 ・空き地や空き家の適正管理について、所有者の理解が深まり環境の保全や危険防止が進んでいます。 ・狂犬病予防注射の実施率が高まり、猫などのペットの飼育についても飼い主のマナーが向上しています。 ・エゾシカやアライグマなどの有害鳥獣を駆除することにより、農業被害の軽減や市民生活の安全が図られています。	【5年後の目指す姿】 ・市民や企業が電力量や化石燃料などの消費削減に取り組むことにより、自然と共生する意識が図られています。 ・再生可能エネルギーの地産地消への機運が高まっています。	【5年後の目指す姿】 ・安全で安定した水道水の供給を維持しています。 ・老朽化施設の改築・改善が進んでいます。
【数値目標】 市民一人が1日に出す家庭ごみ量 507 g ごみのリサイクル率 53% 狂犬病予防注射接種率 75.0% エゾシカ駆除頭数 120 頭	【数値目標】 1件当たり年間の電灯電力量 3, 023kwh	【数値目標】 配水池(容量)の耐震化率 78.9%
◆下水道・浄化槽・し尿処理	◆火葬場・墓地	◆除雪
【5年後の目指す姿】 ・資金不足等解消計画の確実な実施による持続可能な下水道事業経営が図られています。 ・人口密集地の管網整備が進んでいます。 ・東部地区の浸水対策が進んでいます。 ・下水道認可区域外において、合併浄化槽の普及により市民の快適で衛生的な生活環境の改善が進んでいます。 ・受益者負担の原則に基づき、適正なし尿処理手数料収入により市内事業者による収集運搬と施設の維持管理が行われています。	【5年後の目指す姿】 ・終焉の儀式的場にふさわしい環境を維持しています。 ・新規墓地希望者に対して、区画の広さなどニーズに合った貸付けが行われています。	【5年後の目指す姿】 ・市民との協働による効率的な除排雪により、安全な道路環境が整備されています。
【数値目標】 下水道普及率 88.1% 下水道水洗化率 86.2% 下水道認可区域外の合併浄化槽新設数 毎年 4 基 し尿収量 2, 794 k l	【数値目標】 墓地抽選会時の充足率 100.0%	【数値目標】 年間排雪量 除雪に関する苦情件数(問合せを除く) 40 万 m ³ 130 件

（基本施策） 快適な都市機能

- 自然とまちなかの調和のとれたまちにすること
- 活力と賑わいを持続できるまちにすること
- 効率性と利便性の高いまちにすること
- 生活拠点と観光拠点等を結ぶ道路網の充実、生活に身近な道路機能の向上や安全・安心な道路空間を確保するため、基盤整備を計画的に進めること
- 公園緑地や街路樹、花など緑を大切にし、また、公園施設の老朽化対策を推進し、安全で安心な都市環境を形成すること
- 森林や緑地に親しむ機会が増し、潤いとゆとりの都市空間があるまちにすること
- 市民に愛され、親しまれる港があるまちにすること
- 道北圏域を含めた物流と地域経済が活発なまちにすること
- 地域産業が元気で、地域経済が活発なまちにすること

◆都市計画・地籍調査	◆道路・橋りょう	◆河川・ダム	◆留萌港
【5年後の目指す姿】 ・地域の特性に応じた土地の利用となっています。 ・中心市街地の活性化と都市の快適性、利便性が向上しています。 ・公共交通の必要性が市民に理解され、安定した運行・運営を行っています。 ・市街地の調査を進め、地籍の明確化を図り、税金等の市民負担の公平化、土地に関する紛争が防止されています。	【5年後の目指す姿】 ・幹線道路の整備が計画的に進むとともに、生活道路の補修が適切に行われ、道路機能を維持しています。	【5年後の目指す姿】 ・市民の生命・財産を洪水から守るための河川・ダムが整備・管理され、市民が安心して暮らしています。	【5年後の目指す姿】 ・港内の静穏度向上のための施設改良及び老朽化施設の改修により、安全で効率的に港が利用されています。 ・港湾施設用地の効率的な利用が図られています。
【数値目標】 留萌市内線/バス乗客人員 129,841人 登記簿等(土地面積)が更新される割合 25.85%	【数値目標】 走行(歩行)空間の安全度の向上 100.0%	【数値目標】 河川災害の発生件数 0件	【数値目標】 留萌港取扱貨物量 137.0万t 入港船舶総トン数 120.0万t
◆市営住宅	◆公園緑地・花	◆商店街	
【5年後の目指す姿】 ・点在入居した郊外団地の集約及び用途廃止が進み、適正な管理戸数へ近づいています。 ・建替えや改善による住環境及び居住性の向上を図ることにより、高齢化に伴うまちなか団地への住替え及び新規入居が進み、団地が活性化され、住みやすい住環境が形成されています。	【5年後の目指す姿】 ・市民が進んで公園や花壇の維持管理に参加しています。 ・公園施設の老朽化による利用者被害を防止するため、点検診断に基づく補修・改修整備を進めています。 ・自然の大切さと美しいみどりとのふれあいを通じて、森林の維持に対する理解が深まっています。 ・森林の機能を活かし、森林浴を楽しむ市民の健康増進に役立っています。	【5年後の目指す姿】 ・商店街が市民の日常を支える拠点として賑わい、市民（消費者）の満足度も高まり、活気が戻ってきています。	
【数値目標】 管理戸数 1,257戸 市営住宅の入居率 84.0%	【数値目標】 環境美化パートナー制度による維持管理箇所数 23箇所 公園施設の予防保全率の向上 21% 自然観察会等利用実績 20回	【数値目標】 るもいプラザ賑わい広場利用者数 52,000人 商店街加入数 90法人	



第6次留萌市総合計画 ー概要版ー

(平成28年12月6日策定・議決)

所管 留萌市地域振興部政策調整課

〒077-8601 北海道留萌市幸町1丁目11番地

TEL 0164 - 42 - 1809

MAIL kikaku@e-rumoi.jp

URL <http://www.e-rumoi.jp/>